



大雪の中の稲荷堂

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番地10
TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆

小林国二 小林善秋 高橋潔 加瀬由紀子
室賀清輝 近藤マリ子 近藤善信
後援・株式会社アサヒ
印刷・(株)北越時報社

ご家族の皆さままでご覧ください

「雪」思い出・思うこと

翠巖龍弘

●子供の頃

雪が積もると犬が喜び庭駆け回るように寒さも忘れ、雪だるま・かまくら・雪合戦・落とし穴・屋根から落ちた雪を利用して、ミニゲレンデを作り竹スキー・木のミカン箱の下に竹スキーを付けてのソリ遊びなど、雪を前向きに楽しんだ思い出。

●青年期

細い雪道を一人黙々と歩く。長靴で雪を踏む時に鳴る「キュッキュッ」という音を聞きながら。対面から人が来ると雪道の脇をちよつと踏み固めて避け、道を譲ったり譲られたり。ビルを背後に「しんく」と降る雪を見て『雪の降る街』を静かに口ずさむ。雪によって総てが覆い隠され、純白の輝きに自分の罪咎をも消し去ってくれたかと思ひ。裸木の

の雪化粧を見て感嘆し。時にはスキーを楽しみ。哲学的になったり、感動したり、楽しんだり。

●大人

雪の大変さが身に染みるが、降る時に雪が降らないと経済が回らないと、みよりに納得したり。自動車をはじめ便利な生活に馴れたせい、少雪を願ひ。豪雪になると雪のない地域に憧れるが、春夏秋冬の四季がはつきりしているのは雪国だけだと納得す。

『春よこい、早ーやくこい、歩き始めたミィちゃん』が、昔、この歌を聞くと不思議に心が浮きくしたものです。当時は少雪パイプもなく、一步家の外は雪で覆われ白一色でした。三月下旬か四月上旬、土や草が現れた時の喜びは、雪国の

人でしか味わえないのではないのでしょうか。

昨年の中越地方は集中豪雨、大地震で被害を受けただけに、今年だけは少雪であるように願っていたのですが、中越地方は十九年ぶりの大雪でした。

長岡でも地震で家屋が傷んでいるために、二回、三回と屋根に上がった人も多く、久々の屋根の雪下ろしで落下し、亡くなられた方も何人かおいでになり、避難しているため、雪下ろしが出来ず、潰れた家も多数ありました。

人間の思い通りにいかなのが自然現象です。しかし、春のこない冬はありません。何れ諸々の災害から復興し、元の生活に戻れた時、当たり前と思っていた暮らしに大きな感動を持つことが出来るのではないのでしょうか。

【大本山總持寺 雲水日記】

小さな一歩一歩がやがて大きな一歩となる

近藤真弘

一歩はとても小さなものですがそれが集まると大きな一歩になります。

先月、私は機会をいただき今修行しています横浜鶴見にある大本山總持寺から同じ神奈川県内の大雄山最乗寺まで修行僧二名で托鉢行脚に行つてまいりました。

当日は總持寺の皆さんに見送られる中、目的地まで



約八〇キロを二日間の日程を組み歩いて行くというこゝとで出発しました。歩き始めて最初の二時間ほどは意気揚々と、はじめて歩く道を興味津々周りを見ながら歩いていました。しかし、

半日も歩くと普段歩いていないせいか、足が痛くなりだんだんと周りをみる気力もなくなってきました。加えて托鉢のときにかぶる網代笠という笠、傘状になつていて視界が妨げられま



す。そのうち疲れのせいかな自然と視線が下に落ち、見えてくるのは一歩一歩進む自分の足下だけになって来ました。足元を見ていると一歩というのは本当に小さく、歩くということの無力さを感じました。

歩いていくなか、ふと先のほうを見るとはるか長い道のりの向こうに看板が見えました、あそこまで行くの

にどれくらいかかるのだろう、そんなことを考え、また足元を見ながら歩きました。ほどなくすると、先ほどの下までやってきました。

振り返ると当然ですが、そこには自分の歩いてきた長い道がありました。一歩一歩は小さいけれどこれだけの距離を確実に進んでいるんだと、その時あらためて

感じました。

途中、宿を提供してくださった大船観音寺のみなさんをはじめ多くの方々から協力を頂き、二百目の夕方無事最乗寺に到着しました。

八十キロからの道のりを歩ききったとき、その達成感私の人生の大きな一歩となりました。

歩いているときの一歩はとても無力な小さなものに感じられましたが、その一歩一歩が無ければ当然達成できませんでした。小さなものの積み重ねが大きな何かになる。

自分の今生きている人生も一歩一歩の積み重ねです。今この瞬間も一歩一歩進んでいます。今日という日も一歩一歩が集まった大きな一歩であると同時に、人生の中では毎日続く小さな一歩です。その時その時の小さな一歩が気付いたら人生での大きな一歩となつていきます。

今この瞬間も確実に進んでいる一歩一歩の大切さを感じ生きていけたらと思います。

一日も早く復興することが最大の恩返し

山古志村長 長島忠美



平成十六年十月二十三日、私達山古志村が自然の大きな力で運命を変えられた日です。

地震の直後村民は暗闇の中にいました。全ての情報手段が失われて、たえず続く余震の中で不安の一夜を過ごすことになりました。

私は村民の生活を守るものとして情報を得られない、発信できないことに大きなあせりを感じていました。携帯電話の電波塔さえ破壊されてしまっていたのです。

夜が白み始めて私達が目にしたのは山が動き、川が流れを変えて大きく姿を変えてしまった山古志村の悲しい姿でした。道路という

道路は全て崩落し寸断されていきました。十四ある私達の集落の全てが孤立してしまっただけです。私は情報を収集し、対策を取るべく役場に歩いて向かうことにしました。谷を下り、

山に登り、役場を見ることができた場所にたどりついた時、私は信じられない景色を見ました。あるべき山がありません。あるべき家がありません。ある家は土砂の下に、ある家は地すべりの

途中にぶら下がっていたのです。私は村民の命の心配をするに至っていました。その後、村は全てのインフラを失い、全集落が寸断され、村民が不安の中にある事実を前に、私は村民の命と生活を守るものとして

私達は避難をしてから、私達が支え合って生きて来たコミュニティこそ農村文化の礎だと気づいています。あの大地震のあとでさえ「帰ろう、山古志へ」と、思いを一つにできたのです。

この災害を通じ、全国の皆さんからの暖かいご支援が私達にとって大きな勇気の源になりました。人間ひとりぼっちが一番辛いと感じました。日本の国の中からこれだけ多くのやさしさを感じることができたことで、この大きな災害の中で私達が希望を失わずにすみました。

何分だったのか何時間だったのか分からないけど、私は村民の命を守るためにも全村民に避難をすることを選択し、指示しました。村民に情報を伝えられないままでしたが、村民は指示に従ってくれました。

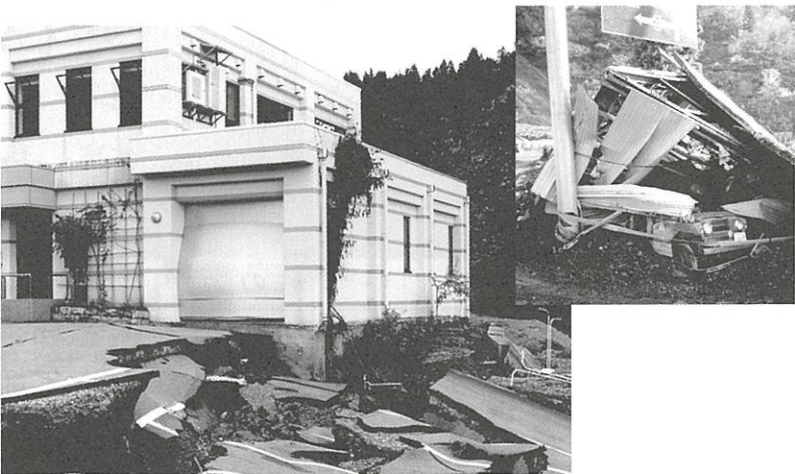
私は最後のヘリコプターで村をあとにしましたが、私達のふる里に誓ったつもりです。「村を捨てるんじゃない。必ず緑の村を取り戻す」。これが私だけではなく村民全ての気持ちです。

今はただ感謝しか伝えられません。必ず山古志を皆さんに来ていただけるよう復興させるのが最大の恩返しだと信じて頑張ります。本当にありがとうございます。

私は最後のヘリコプターで村をあとにしましたが、私達のふる里に誓ったつもりです。「村を捨てるんじゃない。必ず緑の村を取り戻す」。これが私だけではなく村民全ての気持ちです。

高齢の方から赤ちゃんまで、全ての方がお互いにお互いを必要としています。山古志の地も今は四メートル近い雪の下にあります。私達を必要とし、帰りを待ってくれています。私達はスコップ一丁しか持つことができなくても、できるだけ早くあの地に帰り、復興ののろしを上げたいと思います。

山古志村長 長島忠美の経歴
昭和二十六年一月山古志村に生まれる。昭和四十四年長岡高等学校卒業。昭和四十八年東洋大学経済学部卒業。昭和五十四年に山古志村へ帰る。平成二年山古志村教育委員就任。平成五年山古志村議会議員、平成十二年山古志村長に就任し現在に至る。



【山古志村復興基金のご案内】

山古志村の文化・民俗・伝承の復興の財源に充てるために設立されました。

■郵便振替

口座名義/山古志村復興基金 口座番号/00540-5-44035

まだ間に合います

災害と税金

高橋潔税理士事務所／高橋 潔

昨年は水害、震災と災害の年でしたが、自然の厳しさとともに各地より多くの物心での援助が届き、人の温かさ、優しさを改めて感じたときでもありました。

災害を受けた場合には税金でも援助する制度があります。いま確定申告の時期ですので、その制度『雑損控除』といいます。を簡単に解説します。

間もなく申告の期限三月十五日です。今年手続きをしておかないと控除（税金の還付）が受けられない場合もありますので注意が必要です。

Q どんな制度なんですか
A 災害によって建物や家財などが受けた損害額を所得から控除する制度です。

Q 建物の損害額はどうやって計算するのですか。
A 建物の損害額は災害直前の建物の価値（時価）と災

害直後の価値（時価）との差額を損害額とするのが原則ですが、価値（時価）といっても判らないということになるでしょう。

そこで次の方法（合理的な計算方法といえます）で計算することになります。

【建物の建築（購入）価額がわかる場合】

災害直前の価値Ⅱ建築（購入）価額－建築から災害の時までの年数に応じた償却費
損害額Ⅱ災害直前の価値×被害割合－保険金収入

【建物の建築（購入）価額がわからない場合】

建築（購入）価額を一定の方法で出します。新潟県の場合は場合ですと、建物の建築（購入）価額Ⅱ14万6千円×総床面積とします。建築（購入）時期が何時であるか関係なくこの計算で出し

ます。この金額をもとに償却額と保険金収入を差し引き、損害額を出します。鉄骨や鉄筋の場合はもう少し金額が大きくなります。

Q 家財の損害額はどうかやって計算するのですか

A 家財は壊れた物の価値が壊れた時いくらだったかを合計するのが原則です。

Q いろんな物が壊れ、いくらの価値なのか良く判りません。

A その場合は簡便な方法で計算します。

まず一家（世帯）の合でいくらの家財があったかを出します。この計算は世帯構成によって違ってくる。

Q 具体的には？

A 夫婦世帯は世帯主の年齢が五十才以上…一五万円
四十才代…一〇〇万円
三十才代…八〇〇万円
二十九才まで…五〇〇万円
の家財があるものとして、更に夫婦以外の家族の分を加算します。

十八才以上…二人三〇万円
十八才未満…一人八〇万円

この合計が一家（世帯）の家財額とします。

独自の世帯は三〇〇万円とします。

Q これによって損害額を出すのですか。

A そうです。具体的には損害額Ⅱ右の家財合計×被害割合－保険金収入となります。

Q 家財は世帯主だけのものではないし、家族には他に所得がある者がいますがそちらからも控除を受けられますか。

A 家財は世帯主だけのものではないし、家族には他に所得がある者がいますがそちらからも控除を受けられますか。

場合の被害割合は
全壊…100%
半壊…50%
一部破損…5%

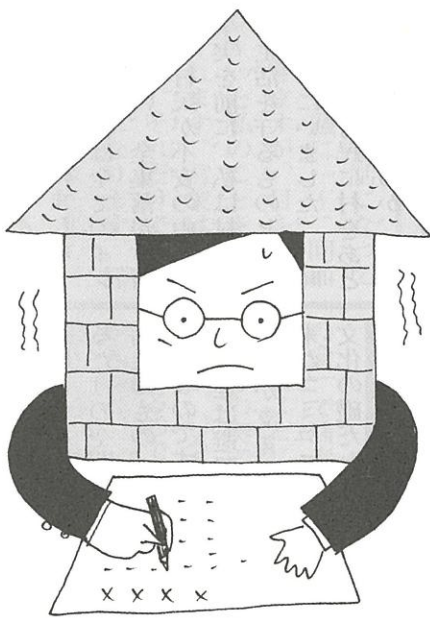
とすることになっています。

Q 損害額が還付されるんですか。

A 還付される金額はご自身が年間に納める税金の範囲内で、損害額や所得の金額によって違います。

Q 被害額が大きくて平成十六年だけでは控除しきれませんが。

A 全壊、半壊のような場合



A その場合は家財の合計金額を按分してそれぞれから控除を受けられます。

Q 被害割合はどうなりますか。
A 合理的な計算方法でやる

Q 繰り越す場合に注意することはありますか。

A この繰り越す制度が使えるのは平成十六年の申告で確定申告をしていることが条件です。平成十六年で還付される金額が無いからといって三月十五日までに申告をしていないと、平成十七年、十八年の控除が受けられなく可能性があります。ご注意ください。

以上概略を説明しましたが、紙面の関係で相当省略したのの説明です。実際の計算はもう少し複雑ですので税務署や税理士に相談してください。また持参する書類も確認しておくことも必要です。

● 長岡の相談場所です

■ 大手通り／市民センター2階
■ 長岡新産管理センター2階

● 不明の点は左記までお問い合わせください。

長岡税務署
0258-3518509
高橋潔税理士事務所
0258-3210874

安善寺の末寺 常福寺も

大きな被害を受けました

安善寺の本寺は「栖吉山普濟寺」(長岡市栖吉町)です。

普山寺開山長翁昌宗大和尚
安善寺開山長翁存宗大和尚
「普濟二世安翁淳泰大和尚」
「安善二世安翁淳泰大和尚」
「普濟三世安翁賢突大和尚」
「安善三世連室賢益大和尚」
「普濟古世了志徹明大和尚」
「安善三世良志徹妙大和尚」



常福寺

と、歴代四人の大和尚が両寺の住職になられております。◎印のように同人物でありながら字が違うのは、住職寺が変わる時敢えて変えたのではないかと思われまます。また、安善寺には末寺が次の三ヶ寺あります。

- 「千體山 地藏院」
(越路町大字石田)



は安善寺の七世、地藏院二世無參養門大和尚は安善寺三世の無參鐵門大和尚です。

- 「愛宕山 妙喜寺」
(長岡市東神田三)

妙喜寺開山奇崑本瑞大和尚は安善寺の十九世です。

- 「祥雲山 常福寺」
(長岡市西片貝町)

常福寺開山安翁淳泰大和尚は安善寺二世、常福寺二世無參鐵門大和尚は安善寺の七世、常福寺三世良志徹大和尚は安善寺三世、常福寺五世奇岩本瑞大和尚は安



常福寺仮本堂の内部

善寺五世奇崑本瑞大和尚、常福寺六世大奇玉麟大和尚は安善寺三世大麒玉麟大和尚、常福寺三世見性放牛大和尚は安善寺三世、常福寺四世安善寺前住の其世雲巖見龍大和尚です。現在は私、翠巖龍弘が兼務住職をさせていたいております。常福寺は言伝えによりますと、安善寺二世が隠居寺として開山されたとのことですが、現在は仮御堂に本尊様が祀られております。昨年十月の中越大震災に



おきましては、地震被害の大きかった地域にあつたせいか、写真のように大変な被害を受け、建物も大規模半壊の状態になり、今後は

本尊様を安善寺本堂にお移つし、建物は取り壊すしかないようです。常福寺にはお檀家さんが一軒もなく、責任役員は安善寺の役員さんにそっくりお願いしている状態なので、再建は当然無理のようです。

お別れ

(平成十六年十二月末)

平成十七年二月末

鈴木奥三郎様十二月廿八日寂

長岡市神田町

須崎春雄様十二月廿二日寂

柏崎市朝日が丘

田村カズ様 一月廿二日寂

長岡市下々条町

大平十一郎様一月廿一日寂

長岡市宮関町

土田ケサノ様二月十一日寂

長岡市四郎丸

中村セツ子様二月十八日寂

新潟市小針

村山シズ様二月二十六日

長岡市美沢

ご冥福をお祈り申し上げます。

読者からの便り

**越後路のつめ跡今は雪粧
東京都板橋区●那須紀伊子**

母の二十三回忌の法要をすませ、私共四人は山古志村に向かい、蓬平温泉のいずみやさんで一泊して、十月二十三日には好天に恵まれ、なつかしいふるりの空気を胸いっぱい吸い、御機嫌でした。田中角栄さんの所などいろいろの見学して、午後五時頃に越後川口で食事をして関越トンネルに向かいました。途中異常な車のゆれを感じ、急いでラジオを入れ地震を知りました。

その瞬間、皆様はとんでもない災難に遭われているとも知らずにトンネルに向かいましたが、そこではもう多くの車が立ち往生で、トンネルの中の検査が終わるまで通行止めということで、二時間ほど待ちましたが、止むおえず三国峠を越して二十三日の夜中に帰宅いたしました。翌日知った惨事の大きさ

にただ驚くばかりのありさまで、九死に一生を得た気持ちで毎日のニュースに見入りました。

復興もままならぬ雪の中、いかがお過ごしでしょうか。澤山の方々、全国からの救援のニュースを見る度に目頭が熱くなり、心の中でありがとうと叫びました。私も新潟県人だなと思う瞬間です。

災害のつめ跡、寒さ、雪、「ゆきぐに」というあつたかーい人情の雰囲気も今は深い雪の下に埋まっています。どうぞご自愛ください。辛抱強い越後根性で頑張ってください。

母と娘

長岡市花園東●高橋とも子

私の母は八十二歳。アルツハイマーが八年程前に発症し、今は完全にベッドの中の生活です。

母の変化に気づいたのはある冬の夜中、トイレに起きた私は、台所の灯りに気づき行つたところ、母が暖のない台所でガツガツとご飯を食べていました。私はびつくりして声をかけましたが、

本人は全く聞こえない様子で食べ続けていました。思えば最近、年のせい、頑固になってきたとばかり思っておりまして。

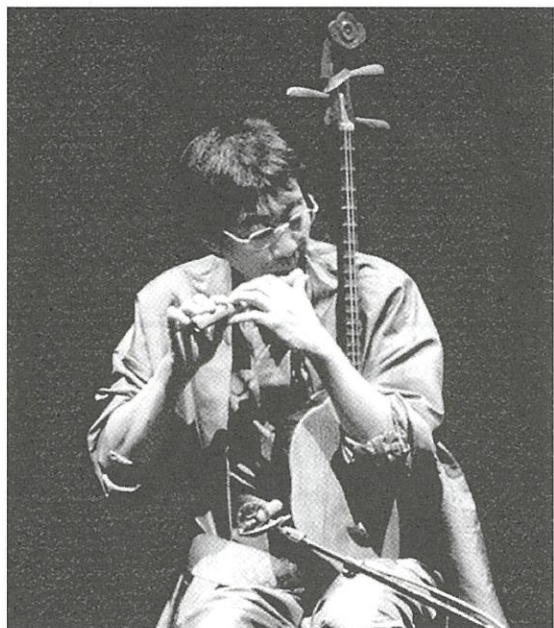
早速病院へ連れて行きまして、お医者様に「残念ですが脳が小さくなりかけています」と告げられ、早く一年、ゆつくりで十年でベツトの中になることを教えられました。数年間はなんとか自分のことはやつとしておりましたが、二年余り前に急に立つことも食べることも出来ない生活となりました。

私は、小学校入学前に母と二人の生活になっておりましたので、ずーっと母と娘の絆が強く、結婚する時も母を連れて主人と結婚しました。それを許してくれた主人には感謝しています。人生いろいろな場面に出会う毎に、無学な母ですが、心から応援してくれました。その母が、今私の前でも言葉もかけてくれなくなり、悲しい思いでいっぱいです。口も開かないので流動食で生きておりますが、私の手で出来ることは限られ、お陰

第五回 KAKA 笑の会

幻想的な楽器「秦琴」の世界に浸ってみませんか

中国の二千数百年の時の流れを汲んだ幻想的な弦楽器「秦琴」をご存知ですか？三弦で木製の棹と胴からなり、桐の胴は六弁の梅花の形で、「梅花琴」とも呼ばれ、近年中国ではこの楽器を専門に演奏する人はほとんどいないと言われている中で、この楽器で音楽活動を続けておられる深草アキさんに次回の「KAKA 笑



様で施設でお世話になっております。週に一、二回面会に行きますが、目を開けてジーンと私のことを見つけてくれます。言葉はありませんが、それだけで私は気持ちに楽になります。痛くなければまだまだ私のそばで生きていて欲しいという気持ちでいっぱいです。施設からの帰り道、毎回一人で涙しております。でも、もうしばらく弱虫の私に元気を与えて欲しいと思っています。

の会」で演奏して頂く機会を得ることになりました。秦琴の奏でる音を聞いてみると、いろんな楽器の音に変化するのです。そこに尺八が入ると、尺八そのものの音色さえ違う楽器の音に聞こえてくるのが不思議です。

深草アキさんの音楽活動はTBSラジオ「筑紫哲也のニュースジョッキー」のテーマソングを作曲・演奏。NHK大河ドラマ「武田信玄」のタイトルバック、挿入曲を演奏。NHKドラマ「蔵」の音楽担当等々。特に「蔵」は新潟県の蔵元が舞台になったドラマ、新潟にご縁があったのかも知れません。

第五回「KAKA 笑の会」
五月二十一日(土)
午後六時三十分開演
安善寺本堂にて

※詳細は安善寺の方にお問い合わせ下さい。

歌のトリノウコ

加瀬由紀子

旬歌 愁灯

[その七]

リズム感覚に乏しい私は、スポーツを観ることもあまり関心がない。サッカー、野球……。どうやら、中学時代の苦い体験が尾を引いていて体育は苦手だ。ある放課後、運動会の練習をサボって、図書館で小説を書いていた。教師に見とがめられ、生意気な文学少女は答えた、「私はなんという卑劣な人間なのだろ

う！」そうとも、と言わんばかりの教師に「先生、これはアメリカの文豪、スタインベックの『白いうずら』、ラスト部分の一節です。」と言いつ返した。彼は「確かに向き、不向きということがある得る、たくさん本を読めよ。」と笑って去って行った。但し、体育の評価は無惨なものであったが。彼のお目こぼしのおかげで私は文系の道を歩むことに自信を持ち、読書三昧の学生生活を送り、今に至っている。ゆとり教育を見直して詰り込み型に戻そうという風潮があるが、生徒それぞれにふさわしい指針を教育の場で示してほしいものだ。

さて、最初のスポーツの話に戻ろう。野球の面白さのわからない私が、今応援しているのはなんと「楽天イーグルス」なのだ。理由は明快。絶滅危惧種に指定されている森の王者、イヌワシの名を冠した三木谷オーナーに敬意を表して、である。イヌワシ、英名ゴールデンイーグル、学名アキユラクリストサスは新潟の県境、緑



の回廊と呼ばれている山脈にひっそりと住んでいる。翼を広げると二メートルにも達するので、深い谷の上昇気流を必要とする。新潟には約三十羽、国内でも二百羽ほどしかない。餌となるウサギの激減、森林の伐

採、乱開発等環境の悪化で「トキ」の後を追うのは時間の問題と言われている。晩秋の奥只見で、高度千五百メートル付近の空に、会津方向へ渡ってゆくつがいを初めて観た。あたたかみ助けを求めるような出現

は、私の脳裏に強烈に焼き付いた。あの日からもう十年。参加した自然保護団体の反対運動が実ったのか、電源開発や県の予算縮小が原因かともかく、奥只見の揚水発電ダム計画は中止となり、イヌワシの聖域を

残すことができた。友人の住むデンマークでは、猛禽類繁殖のキャンペーンを国家が主導して行っている。即ち、指標生物たる猛禽類を増やすことが、環境保全につながるという解釈なのだ。

一九八六年四月二十六日夜明け。チェルノブイリ原子力発電所四号炉は大爆発を起こした。そしてますます量の放射能が、付近は言うに及ばず、遠く離れた北欧にまで降り注いだ。プリピャチ市は当時五万

ヨーロッパの街々で目にする大きな鳥がいる。「コウノトリ」だ。数年前、長岡に公演にやってきた「チェルボナ・カリナ」のこともたちはコウノトリにまつわる曲を三曲も歌った。春にはきつとふるさとへ戻ってきます
愛しい友のもと
カルパチアの山々へと
コウノトリはお別れに
羽を振った
ごきげんようさようなら
(ウクライナの童謡より)
私はこの公演の実行委員として関わったのだが、この子どもたちは今も元気で暮らしているだろうか。
「チェルボナ・カリナ」とは、グミに似た赤い小さな植物の実を指す。この中には、今はなきプリピャチ市に住んでいた子も何人かいた。

人ほどの技師や作業員とその家族が暮らしていた。チェルノブイリから三キロしか離れていないこの町に全員退去命令が出たのは二日後だった。日本の三十万倍という放射能が町を汚染し、三日後にはまさに死の町となった。

公演の日、サーシャは十二歳の誕生日だった。私の友人が作ったバースデイケーキのローソクをふっと消すと、彼女は涙ぐんだ。今年の誕生日を迎えられない友達が二人いる、と言って。今年も十九年目の四月が巡ってくる。今も骨髄性白血病や甲状腺ガンで多くの人命がべラルーシ、ウクライナなどの国々で失われている。これまでの死者は数十万と言われているが、旧ソ連の発表は信憑性に欠ける。このチェルノブイリの事故が、旧ソ連の崩壊につながったのは紛れもない事実だが、柏崎刈羽原子力発電所を抱える新潟とて人ごとではない。
イヌワシ舞う豊かな自然を今後も保ちたいものだ。

どんな種類の変更も改良も何も望まないほど完全に自分の境遇に満足しきっていることは、おそろくただの一例もないだろう。「アダム・スミス」

どんな種類の変更も改良も何も望まないほど完全に自分の境遇に満足しきっていることは、おそろくただの一例もないだろう。「アダム・スミス」

つくづく幸せを感じます

ペコのひとりごと



編集 雑感

気象庁も、カメラ博士も予期せぬ十九年ぶりの大雪に見舞われ除雪も間に合わず、交通機関はズタズタ。通常なら十分か十五分で行ける所を一時間から二時間もかかるほど。私も長岡から塩沢町への仕事で、早めに出かけたが数時間かかってようやく小千谷の手前。仕事を諦め引き返すことにしたが、自宅に辿り着いたのはかなり遅い時間だった。仕事柄、翌日より屋根の雪おろしの依頼が多く入り、人手が足りず、雪おろしに出かける日が数日間続いた。今、この編集雑感を書いている時も外は雪が降り続けている。家の消雪ポンプも稼働中。

届く頃には雪も少なくなり、震災の復興に向かって動き始めていることを願っております。

書くのが前後しますか、昨年七月の大水害、十月の中越大地震と続き、今年に入りホッとする間もなく大雪と、災害が休みなく襲ってくる。いつになったら落ち着いて生活が出来るのだろう。そんな中でもこの季刊紙は休みなく定期的に発行されている。これは本場にすぎらないことだと思います。

また、今回は小林国二編集長の力で中越大地震以来新潟県で一番注目され、私達に多くの感動を与えていただきました長島忠美山古志村長様からお忙しい中を原稿をいただき、季刊紙編集委員一同感謝しております。

これからも災害に負けず、お互いに力を合わせ頑張ってください。そんなことを含め、力強い投稿をお待ちしております。

小林善秋



最近になってようやく体を感じる地震がなくなってきたと思ったら、今度は雪又雪の日々。昨年の水害に始まって地震・雪害と、どうしてこの地方ばかりこんなにも災害が続くのでしょうか？ 何も悪い事もしないのにと呟きたくなるくらいです。今日も私の頭を一生懸命絞って、独り言を書いているのに、外は大荒れで何処かでトタンが剥がれるような音がしたり、木々が倒れんばかりの音がしています。世の中が騒がしいとおもったら、自然界も本当に騒がしいようです。

以前、お母さんが私の写真は何枚か送って私の肖像画を描いてもらったのですが、描いてくださった人のホームページを覗いたら、私の肖像画が載っていました。その中にこんな事が書かれていました。

「腹ペこで拾われて来たので「ペコ」ちゃんと言ったので「ペコちゃん」は幸福の星のもとに生まれてきたのでしよう。すばらしい愛情に満ちたご家族の一員になったと推察されます。今はすっかりおばあちゃんになりまし

たが、表情といい、しぐさといい、やさしさに溢れています」。

それを讀んだお母さんは、「誉めすぎ、どこの家にも飼われたペットも可愛がられて幸せだから・・・」といっていました。私は納得です。小さいころから何か食べ

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

第三十号、夏号は平成十七年七月八日(金) 発刊予定です。